世 監 第　４４　号
令和４年８月 31 日

世羅町長　奥田　正和　様

世羅町監査委員　山口　敦允

世羅町監査委員　田原　賢司

# 令和３年度世羅町公営企業会計決算審査の意見について

地方公営企業法第 30 条第２項の規定により審査に付された令和３年度公営企業の事業会計の決算及びその付属書類を審査した結果について、世羅町監査委員条例第６条の規定により、次のとおり意見を付して提出します。

# 令和3年度公営企業会計決算審査意見

## 第1 審査の概要

### 1 審査の対象

（1） 令和3年度世羅町公営企業上水道事業会計決算
（2） 令和3年度世羅町公営企業公共下水道事業会計決算
（3） 令和3年度会計証書類その他公営企業法施行令で定める書類

### 2 審査を実施した期間

令和4年7月 20 日から令和4年7月 22 日まで。（実施日数3日）

### 3 決算書の提出時期

公営企業出納員から町長に対し決算書が提出された時期は、令和4年5月 31 日で地方公営企業法第 30 条第1項に定められている法定期間内であります。

## 第2 審査の結果

審査に付された令和3年度世羅町公営企業（上水道事業及び公共下水道事業）歳入歳出決算書、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書、貸借対照表、政令で定めるその他の書類（キャッシュ・フロー計算書、収益費用明細書、固定資産明細書、企業債明細書）について、諸帳簿並びに証拠書類と照合審査した結果、決算数値は何れも符合しており、正確であると認めます。

また、世羅町指定金融機関における現在高と一致していることを確認しました。

各公営企業会計の決算は、次のとおりです。

### 1 上水道事業会計

#### （1） 決算の状況

収益的収入及び支出　（単位:円）

| 区　分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 執行率(%) |
|---|---|---|---|
| 事 業 収 益 | 370,841,000 | 370,184,785 | 99.8 |
| 事 業 費 用 | 428,176,000 | 407,797,938 | 95.2 |

資本的収入及び支出　（単位:円）

| 区　分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 執行率(%) |
|---|---|---|---|
| 資本的収入 | 234,817,000 | 231,718,577 | 98.7 |
| 資本的支出 | 278,366,000 | 258,236,970 | 92.8 |

#### （2） 経営状況

総収益 350,499,829 円に対し、総費用 382,556,307 円で、差し引き 32,056,478 円の当年度純損失となりました。

## （3） 財政状況

資産 6,116,931,118 円に対し、負債 4,994,797,473 円、資本金 96,721,902 円、剰余金 1,025,411,743 円であります。

ア 資産

資産は、固定資産 4,593,063,027 円及び流動資産 1,523,868,091 円で構成され、固定資産は年度末現在高 9,390,376,332 円（有形固定資産 9,218,859,609 円、無形固定資産 171,516,723 円）から減価償却累計額 4,797,313,305 円を減じた額であります。

流動資産は、現金預金 1,501,200,777 円、未収金 22,678,314 円及び貸倒引当金▲11,000 円であります。

未収金は、現年度分が営業未収金 21,297,507 円、営業外未収金 1,250 円、過年度分が 1,379,557 円（うち過年度施設整備納付金 420,000 円）であります。

イ 固定負債

固定負債は 1,167,244,156 円で、その構成は、企業債 1,139,565,156 円、引当金 27,679,000 円であります。

ウ 流動負債

流動負債は 203,340,554 円で、その構成は、企業債 196,468,998 円、未払金が 3,412,556 円（営業未払金 2,320,856 円、営業外未払金 1,091,700 円）、引当金 3,459,000 円であります。

エ 繰延収益

繰延収益は、3,624,212,763 円で、その構成は、長期前受金 5,485,258,124 円、収益化累計額▲1,861,045,361 円であります。

オ 資本金

資本金は、96,721,902 円であります。

カ 剰余金

剰余金は、1,025,411,743 円で、資本剰余金 1,062,190,381 円及び利益剰余金▲36,778,638 円であります。

資本剰余金は、負担金 969,393,296 円、工事負担金 5,854,142 円、国庫補助金 62,534,357 円、県補助金 853,729 円、工事補償金 7,657,584 円、施設整備納付金 15,897,273 円であります。

利益剰余金は、修繕積立金 75,371,917 円、減債積立金 39,189,684 円及び当年度未処理欠損金 151,340,239 円であります。

### (4) 施設の利用状況

| 項　　目 | 比 率 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 施 設 利 用 率 | 53.2 % | 1日平均配水量 2,712 ㎥ / 1日配水能力 5,100 ㎥ |
| 最 大 稼 働 率 | 61.6 % | 1日最大配水量 3,143 ㎥ / 1日配水能力 5,100 ㎥ |
| 負　　荷　　率 | 86.3 % | 1日平均配水量 2,712 ㎥ / 1日最大配水量 3,143 ㎥ |

### (5) 財務分析比率

| 項　　目 | 比 率 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 自己資本構成比率 | 18.9 % | 資本+剰余金+評価差額等+繰延資産 / 総資本(資本+負債) |
| 流 動 比 率 | 749.4 % | 流動資産 / 流動負債 |
| 現 金 預 金 比 率 | 738.3 % | 現金預金 / 流動負債 |
| 減 価 償 却 率 | 4.1 % | 当年度減価償却費 / 期末減価償却資産＋当年度減価償却費 |
| 経 常 収 支 比 率 | 91.4 % | 経常収益 / 経常費用 |
| 営 業 収 支 比 率 | 54.8 % | 営業収益 / 営業費用 |
| 企業債償還額対償還財源比率 | 107.1 % | 企業債償還額 / 減価償却額＋当年度純利益 |
| 固 定 長 期 適 合 率 | 77.7 % | 固定資産 / 固定負債+繰延収益+資本合計 |
| 自 己 資 本 比 率 | 18.3 % | 資本合計 / 負債合計+資本合計 |

## 2 公共下水道事業会計

### （1） 決算の状況

収益的収入及び支出　　（単位:円）

| 区　　分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 執行率(%) |
|---|---|---|---|
| 事 業 収 益 | 184,382,000 | 184,658,092 | 100.1 |
| 事 業 費 用 | 222,974,000 | 215,992,832 | 96.9 |

資本的収入及び支出　　（単位:円）

| 区　　分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 執行率(%) |
|---|---|---|---|
| 資 本 的 収 入 | 258,957,000 | 190,004,000 | 73.4 |
| 資 本 的 支 出 | 258,957000 | 200,796,172 | 77.5 |

### （2） 経営状況

総収益 178,646,762 円に対し、総費用 208,142,557 円で、差し引き 29,495,795 円の当年度純損失となりました。

### （3） 財政状況

資産 4,777,979,957 円に対し、負債 4,555,676,757 円、資本金 5,000,000 円、剰余金 217,303,200 円であります。

ア 資産

資産は、固定資産 4,512,628,967 円及び流動資産 265,350,990 円で構成され、固定資産は年度末現在高 5,768,626,136 円(有形固定資産)から減価償却累計額 1,255,997,169 円を減じた額であります。

流動資産は、現金預金 261,730,666 円及び未収金 3,628,324 円であります。

未収金は、営業未収金 3,003,088 円、その他未収金 0 円及び過年度未収金 625,236 円であります。

イ 固定負債

固定負債は 1,065,162,829 円で、その構成は、企業債 1,046,709,829 円及び引当金 18,453,000 円であります。

ウ 流動負債

流動負債は 82,228,002 円で、その構成は、企業債 61,035,626 円、未払金 18,313,376 円及び引当金 2,879,000 円であります。

エ 繰延収益

繰延収益は3,408,285,926円で、その構成は、長期前受金4,273,004,975円、収益化累計額▲864,719,049 円であります。

オ 資本金

資本金は、5,000,000 円であります。

カ 剰余金

剰余金は 217,303,200 円で、その構成は、資本剰余金 496,625,956 円及び欠損金 279,322,756 円であります。

資本剰余金は、国庫補助金 134,913,898 円、負担金 347,997,734 円及び受益者負担金 13,714,324 円であります。

欠損金は、当年度未処理欠損金 279,322,756 円であります。

## (4) 施設の利用状況

| 項　　目 | 比　率 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 施 設 利 用 率 | 65.6 % | 1日平均流入量 656 ㎥ / 1日当たり処理能力 1,000 ㎥ |
| 最 大 稼 働 率 | 108.9 % | 1日最大汚水量 1,089 ㎥ / 1日当たり処理能力 1,000 ㎥ |

## (5) 財務分析比率

| 項　　目 | 比　率 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 自己資本構成比率 | 10.5 % | 資本+剰余金+評価差額等+繰延資産 / 総資本(資本+負債) |
| 流 動 比 率 | 322.7 % | 流動資産 / 流動負債 |
| 現 金 預 金 比 率 | 318.3 % | 現金預金 / 流動負債 |
| 減 価 償 却 率 | 2.5 % | 当年度減価償却費 / 期末減価償却資産＋当年度減価償却費 |
| 経 常 収 支 比 率 | 85.5 % | 経常収益 / 経常費用 |
| 営 業 収 支 比 率 | 12.9 % | 営業収益 / 営業費用 |
| 企業債償還額対償還財源比率 | 73.2 % | 企業債償還額 / 減価償却額＋当年度純利益 |
| 固 定 長 期 適 合 率 | 96.1 % | 固定資産 / 固定負債+繰延収益+資本合計 |
| 自 己 資 本 比 率 | 4.7 % | 資本合計 / 負債合計+資本合計 |

## 第3 審査の意見

### 1 上水道事業会計

上水道事業については、黒淵浄水場非常用発電機設置工事、配水管布設工事として町道平帽子1号線を実施しています。

水道料の未収金は、現年度分（3月を除く）は、1,093 件（845 人）4,774,583 円、平成16 年度分より令和2年度分までは、435 件（85 人）959,557 円となり、合計 1,528 件（930人）5,734,140 円になります。対前年度（1,481 件（864 人）6,290,851 円）との比較では、47 件（66 人）未収金△556,711 円と減少しています。

その外に過年度未収金として施設整備納付金 420,000 円（2 名）があります。

地方公営企業法の一部改正が行われ、平成 26 年度より施行されています。

以前から発生主義の内容ではありますが、処理内容が大幅に改正となり、その一部の処理が行われていない部分があります。

収益的収支において、減価償却費相当分の町費分長期前受金を計上せず、そして給水収益から施設の維持管理費等の費用を差し引いた残額の利益を資本的収支の収入に補填財源として充当すべきものを行わず、主に起債償還の元金分や他の建設改良費の経費を一般会計から負担金として受入れを数年に亘り行っている。また、建設改良費については、入札減等の変更が生じても当初予算ベースでの積算のままで事業完了後の清算還付が行われていません。

これらの行為により全額では有りませんが、現金預金の年度末残額 1,501,200,777 円となっています。

関連して、令和4年度当初予算で、収益的収入の特別利益として、1,900,587,000 円が企業債償還元金繰入金収益化として計上されています。これらの修正も必要であります。

### 2 公共下水道事業会計

下水道事業については、平帽子地区（3・4工区）、栄町地区（2工区）の下水道管新設工事を実施しています。

事業計画区域 107.7 haの面的工事が 96.8 ha完了し、進捗率は 89.9％であります。

工事が進捗し、公共桝が増加している中で、施工済の公共桝 740 箇所のうち、345 箇所が接続済で接続率は 46.6％となっています。完了地区は早期に接続を行い、事業効果がでるように奨励していただきたい。

下水道使用料の未収金は、現年度分（3月を除く)は、114 件（71 人）671,594 円、平成 25 年度分より令和2年度分までは、138 件（23 人）625,236 円となっています。

未収金合計は252 件（94 人）1,296,830 円となって、前年度（212 件（72 人）1,103,992

円）と比較すると 40 件（22 人）未収金 192,838 円と増加しています。

公共下水道事業会計においても上水道事業会計と同様に収納対策を行って頂きたい。

また、上水道事業会計と同様に地方公営企業法改正による事務処理が必要であります。未処理で全額では有りませんが、現金預金の年度末残額が 261,730,666 円となっています。